（感覚・運動部門）

歯科口腔外科

診療科動画　診療科 HP

１．スタッフ

診療科長（教授）　中山（なかやま） 秀樹（ひでき）

准教授１名、講師１名、助教２名、医員　38 名（非常勤４名）
歯科技工士１名
歯科衛生士２名

２．診療科の特徴、診療内容

地域の中核病院として口腔顎顔面領域の全ての疾患の診断と治療を行っており、そのほとんどが他医療機関からの紹介患者で占められている。特に、地域医療最後の砦として口腔癌の治療にあたっている。また、顎変形症をはじめ、外傷、薬剤関連顎骨壊死に対する高度先進的治療を行っている。最近注目されている薬剤関連顎骨壊死に対しては、外科的治療を含め最新の知見に基づく治療を行っている。さらに、医科との連携として他科入院患者の歯科治療を行っている。他科疾患のリスクファクターとして歯周病などの歯性感染病巣が注目されるようになり、造血幹細胞移植・生体肝移植や抗癌剤治療により免疫が低下する患者、放射線治療予定の患者、循環器疾患や糖尿病患者の口腔衛生管理に力を入れている。さらに、呼吸器内科との連携で睡眠時無呼吸症候群のスプリント作製も行っている。また、高齢社会に伴い合併症が増え、一般開業歯科では対応困難な有病者や障がい者（児）の歯科治療を入院下あるいは全身麻酔下で治療しているし、HIV ならびに血友病患者の歯科治療も行っている。

日本口腔外科学会指導医５名
日本口腔外科学会専門医６名
日本口腔外科学会認定医 17 名
日本がん治療認定医機構がん治療認定医４名
日本口腔腫瘍学会暫定口腔がん指導医１名
日本口腔腫瘍学会口腔がん専門医　３名
日本顎変形症学会認定医・指導医　２名
日本口腔ケア学会認定資格保持者 複数名

３．診療体制

○外来診療体制

月曜日（午前・午後）：これまでに治療した患者の経過観察、ならびに外来化学療法を行っている。
水曜日（午後）：口腔癌患者および顎関節症患者の経過観察ならびに専門的治療を行っている。
金曜日（午後）：顎変形症患者および口腔乾燥症患者の経過観察ならびに専門的治療を行っている。

○病棟診療体制

毎日 9:00 から患者の病棟処置
月曜日：7:30 から手術症例カンファレンス
水曜日：9:00 から病棟教授回診
金曜日：8:00 から放射線カンファレンス
手術：ほぼ毎日、１日 1-2 症例

４．診療実績

○疾患別の患者数

口腔悪性腫瘍=約 130-140 例、口腔良性腫瘍（歯原性、非歯原性）=約 80 例、嚢胞性疾患（歯原性、非歯原性）=約 100 例、顎変形症=約 60 例、顔面外傷（顎顔面骨骨折、歯牙破折、軟組織外傷）=約 10 例、顎関節疾患=約 50 例、骨吸収抑制薬関連顎骨壊死=約 60 例、口腔感染症=約 30-40 例、口腔粘膜疾患=約 250 例、口腔乾燥症（ドライマウス）=約 40 例

＊外来新患数　：　2022 年　　3,443 人
＊外来新患数　：　2023 年　　2,748 人
＊外来新患数　：　2024 年　　2,889 人

＊外来患者総数：　2022 年　　20,413 人
＊外来患者総数：　2023 年　　18,261 人
＊外来患者総数：　2024 年　　17,444 人

○主要な疾患の治療実績（成績）

1) 口腔悪性腫瘍=Stage III, IV の進行口腔扁平上皮癌患者の５年累積生存率は約 70-80%である。
2) 口腔良性腫瘍=治療法は外科的切除が主体であるが、エナメル上皮腫や歯原性角化嚢胞については機能温存を第一に考え、開窓療法を主体に治療して良好な結果を得ている。
3) 嚢胞性疾患=非歯原性のものについては摘出術を、歯原性のものについては歯牙、顎骨の温存を第一に考え、開窓療法を主体に治療して良好な結果を得ている。
4) 顎変形症=手術は下顎矢状分割法ならびに上顎骨 Le Fort I 型骨切り術が主体で良好な咬合が得られている。
5) 顔面外傷=顎顔面骨骨折、歯牙破折、軟組織外傷について術後の機能のみでなく、審美性にも配慮して治療し良好な結果を得ている。

○手術の件数等

中央手術室での手術件数：2022 年　349 件
中央手術室での手術件数：2023 年　351 件
中央手術室での手術件数：2024 年　314 件

外来手術件数　：2022年　2,450件
外来手術件数　：2023年　2,162件
外来手術件数　：2024年　2,125件

５．高度先進的な医療の取組

先進医療に向けた研究等：

1.　臨床研究としては、
1) 口腔癌の頸部リンパ節転移についての研究
2) 口腔癌再建術後のインプラントによる顎口腔機能改善に関する研究
3) 薬剤関連顎骨壊死についての研究
4) 口腔細菌と全身疾患との関連性の研究

2.　基礎研究としては、
1) 口腔扁平上皮癌の放射線耐性制御の研究
2) 口腔扁平上皮癌の抗癌剤耐性制御の研究
3) 高転移性口腔癌の転移機序の研究

６．臨床試験・治験の取組

〇臨床研究の実績：

1. 臨床研究としては、
1) 口腔癌患者に対する術前化学療法の効果に関する研究
2) 口腔癌再建術後の顎口腔機能についての研究
3) 口腔癌の頸部リンパ節後発転移の研究
4) 薬剤関連顎骨壊死についての研究
5) 口腔癌患者の栄養状態と治療効果についての研究
6) 口腔状態と全身疾患との関連性の研究
などをテーマにしている。

2. 基礎研究としては、主に科研費を獲得し
1) 口腔扁平上皮癌の浸潤、転移機構の解析
2) 口腔扁平上皮癌の放射線耐性制御の研究
3) 口腔扁平上皮癌の抗癌剤耐性制御の研究
4) 口腔癌に対するプラズマ療法の効果の研究
を行っており、研究成果を論文発表している。

〇治験の実績：

口腔カンジダ症に対するイトリゾールの効果判定
セレコキシブの抜歯後疼痛制御に関する検討

７．地域医療への貢献

熊本歯科衛生士専門学院、学校法人中島学園、九州看護福祉大学からの学生臨床実習受け入れ、および同校への講師の派遣。

８．医療人教育の取組

卒後臨床研修の取り組み：プログラムA（２年研修）：４名、プログラムB（１年研修）：４名の計８名の研修医を採用し、指導を行っている。プログラムAでは、２年目に６か月間の医科麻酔科研修を行っている。
専門医取得のための支援：口腔外科認定医・専門医の認定施設であり、専門医取得のためのカリキュラムを形成している。認定施設の実績：ここ数年で多くの口腔外科認定医・専門医を育成している。主なカンファレンスと勉強会は以下の通りである。その他、臨床経験にあわせたミニレクチャーを適宜、朝7:45から実施している。

月曜日：手術症例カンファレンス
　　外来症例カンファレンス
火曜日：アドバンスセミナー
　　術後症例カンファレンス
水曜日：術後症例カンファレンス
　　手術手技勉強会
　　インプラントンファレンス（月１回）
木曜日：ベーシックセミナー
　　術後症例カンファレンス
　　病理部合同カンファレンス（月１回）
金曜日：放射線治療カンファレンス
　　術後症例カンファレンス

９．研究活動

現在、10名以上の大学院生を中心に以下の研究を行っている。

1. 臨床研究としては、
1) 口腔癌患者への術前化学療法の研究
2) 口腔癌再建後の顎口腔機能についての研究
3) 口腔癌の後発頸部リンパ節転移の研究
4) 口腔癌の放射線治療の効果についての研究
5) 口腔癌への免疫療法の治療効果についての研究
6) 口腔細菌と全身疾患との関連性の研究
7) 薬剤関連顎骨壊死の臨床的研究
などをテーマにしている。

2. 基礎研究としては、
1) 口腔癌の転移に関する研究
2) 口腔癌の放射線耐性に関する研究
3) 口腔癌の抗癌剤耐性に関する研究
4) 口腔癌への免疫療法に関する研究
5) 口腔癌へのプラズマ療法に関する研究
6) 口腔細菌と口腔癌進展との関連性の研究
7) 薬剤関連顎骨壊死の発症機序に関する研究
などをテーマにしている。

熊大病院歯科口腔外科HPのURLは以下の通り
https://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp